

## ごあいさつ (勇気と深い愛に満ちた「レディ・ゴディバ」の伝説)

みなさんいかがお過ごしですか。秋を感じる季節となりました。仕事の合間に、ゴディバのアイスをいただきました。ゴディバといえばチョコレートが有名ですが、アイスのカップを見ると馬に乗った裸の女性の絵が描かれていて、これには深い意味があると聞いたので調べてみました。それは勇気と深い愛に満ちた「レディ・ゴディバ」の伝説でした。1043年、英国の小さな町にレオフリック伯爵と美しい妻レディ・ゴディバが領主に任命されました。信心深かった夫は、初めに大修道院を建設します。この修道院が社会的活動の中心となり成功しました。その成功により次々に公共の建物を建てては、領民からの税を増やします。重税に苦しむ領民を見かねた妻は、伯爵に税を引き下げるよう願い出ます。伯爵は断りましたが、彼女は何度も訴えます。ついに議論に疲れた伯爵は、彼女に「もしおまえが一糸まどわぬ姿で馬に乗り、コベントリーの町中を周れたなら、その時は税を引き下げて建設計画を取り止めよう」と言いました。翌朝、彼女は一糸まどわぬ姿で町を周りました。領民たちはそんな彼女の姿を見ないように、窓を閉ざし敬意を表しました。そして伯爵は約束を守り、ついに税は引き下げられたのです。ゴディバの創始者ジョセフ・ドラップスと妻ガブリエルは、レディ・ゴディバの勇気と深い愛に感銘し、1926年ベルギーに誕生した自らのブランドに「ゴディバ」の名を冠しました。以来、ゴディバはその愛の精神をチョコレートに込め続けています。ロゴマークにはそんな深い意味が込められていたのですね。

『住まいのふるや』にもロゴマークがあります。詳しくは右下をご覧ください。

